

国立大学共同利用・共同研究拠点セミナーシリーズ

知の拠点セミナー

毎月第3金曜日の夕方、
品川インターシティで先端知に出遭う

ご挨拶

共同利用・共同研究拠点制度は、それまでの全国共同利用研究所制度の伝統を引き継いで、2010年4月から始まりました。現在、27の国立大学に合計74拠点(86機関)があり、拠点協議会を形成しています。拠点機関はそれぞれが所属する大学の壁を越え、全国の研究者に開かれた研究コアとして機能します。

本セミナーシリーズは、さまざまな学問分野の最先端の知を広く一般の方々にお届けするとともに、その声を直接お聴きする双方向のサイエンスイベントを目指しています。金曜の夕方、くつろいだ雰囲気の中、知のひとときをお楽しみください。

講演タイトルと講師

第19回 平成25年4月19日(金) 東京大学素粒子物理国際研究センター 駒宮幸男 教授
「ヒッグス粒子の発見と素粒子物理学の発展」

第20回 平成25年5月17日(金) 東京大学社会科学研究所 佐藤博樹 教授
「ワーク・ライフ・バランスの新しい課題：仕事と介護の両立支援」

第21回 以降計画中

主催：国立大学共同利用・共同研究拠点協議会
日時：毎月第3金曜日 17:30-19:30 (17:00 受付開始)
会場：京都大学東京オフィス
(JR品川駅前「品川インターシティA棟」27階)

参加申込：下記ホームページにて詳細情報をご覧の上、
各回の申込みページからお申込みください。
参加費は無料です。

http://www.kyoten.org/top_seminar.html

